

# これからのリポジトリコミュニティに 期待すること

鳥取大学附属図書館  
中谷 昇

平成28年度JPCOAR地域ワークショップ（中国四国地区）



# もくじ

---

---

- 機関リポジトリのこれまでと現状
- リポジトリコミュニティのこれまでと現状
- これからのコミュニティとしてのJPCOAR
- JPCOARに期待すること

# 自己紹介

---

---

## ■ 経歴：

- ▶ H25.4 鳥取大学 学術情報部図書館情報課 学術情報担当
- ▶ H28.4 同 資料サービス担当（現所属）

## ■ リポジトリコミュニティでの活動：

- ▶ H26.4 デジタルリポジトリ連合（DRF）企画WG
- ▶ H28.4 同 主査
- ▶ H28.7 機関リポジトリ推進委員会 広報作業部会・研修作業部会



# 機関リポジトリのこれまでと現状

# 機関リポジトリって

---

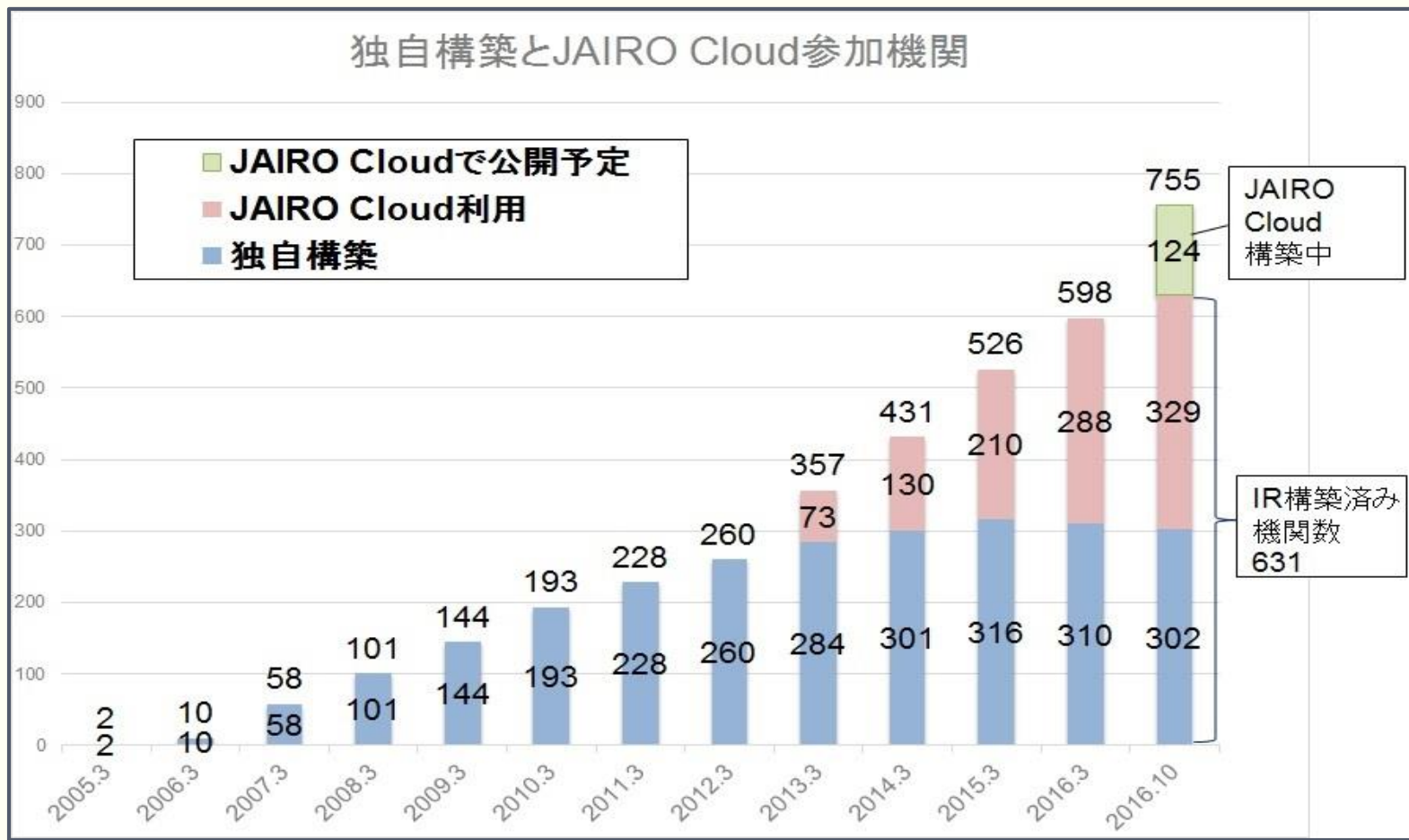
---

- a set of services that a university offers to the members of its community for the management and dissemination of digital materials created by the institution and its community members
  - ▶ 大学とその構成員が創造したデジタル資料の管理や発信を行うために、大学がその構成員に提供する一連のサービス（クリフォード・リンチ 2003）
    - …機関で生成された学術成果物の捕捉・管理・発信
    - …機関に所属する者へセルフアーカイブの場を提供（グリーンOA）
      - （通称的に）これらを達成するためのWebシステム

# これまでの国内機関リポジトリ

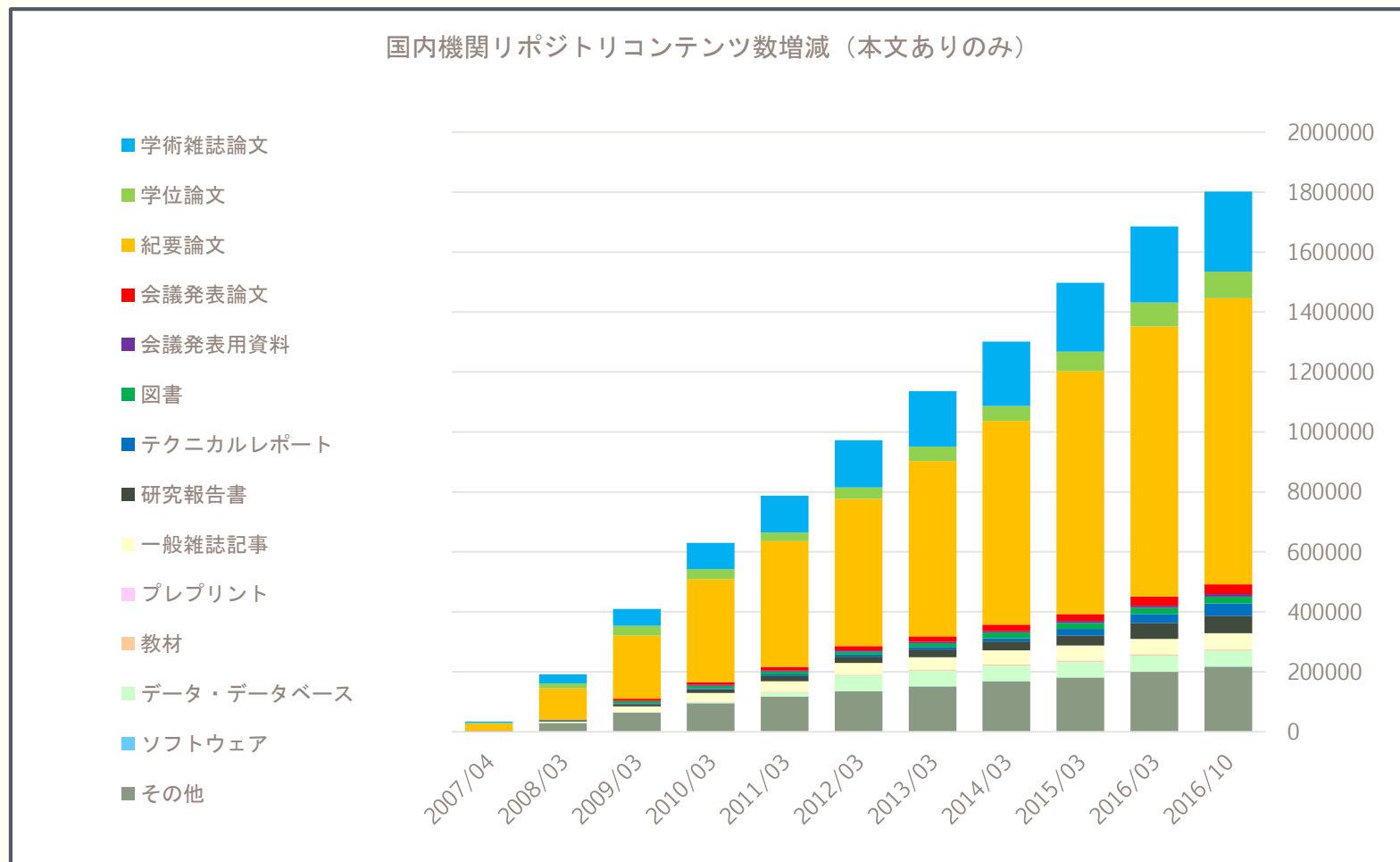
年次	出来事
H16	学術機関リポジトリ構築ソフトウェア 実装実験プロジェクト（NII-IRP）
H17	学術機関リポジトリ構築連携支援事業 委託事業の開始 千葉大学 国内初の機関リポジトリの運用開始
H18	デジタルリポジトリ連合（DRF）発足
H24	JAIRO Cloud サービス開始 JAIRO Cloud コミュニティ 発足 学術機関リポジトリ構築連携支援事業 委託事業の終了
H25	学位規則改正：博論のWeb公開義務化 機関リポジトリ推進委員会 発足
H27	京都大学 オープンアクセス方針の採択
H28	オープンアクセスリポジトリ推進協会（JPCOAR）発足

# 機関リポジトリの現状：構築機関数 (H28.10時点)



機関リポジトリ公開数とコンテンツ数の推移 (NII) : <http://www.nii.ac.jp/irp/archive/statistic/>

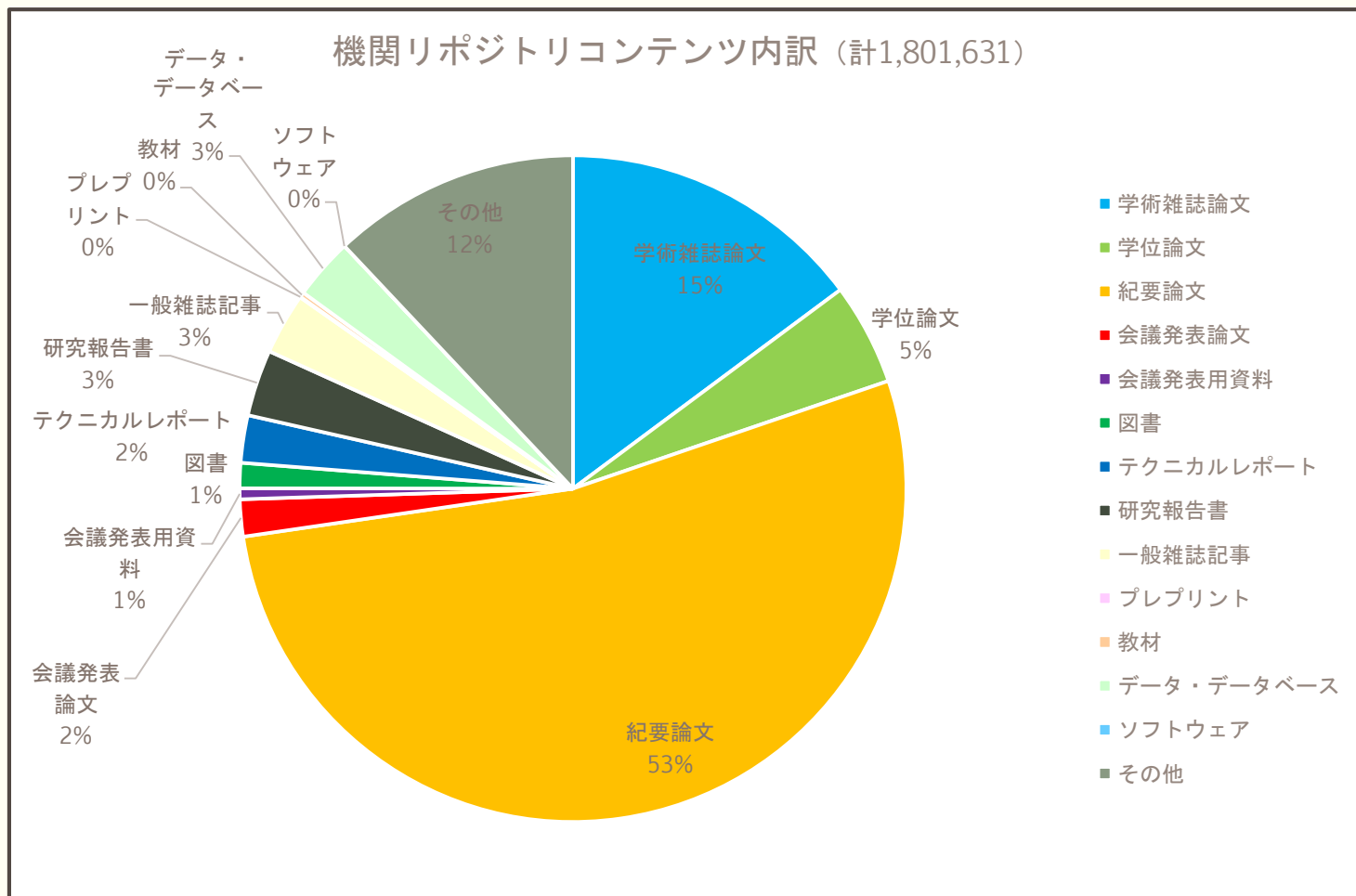
# 機関リポジトリの現状：コンテンツ (H28.10時点)



IRDBコンテンツ分析システム：<http://irdb.nii.ac.jp/analysis/index.php>



# 機関リポジトリの現状：コンテンツ (H28.10時点)



IRDBコンテンツ分析システム：<http://irdb.nii.ac.jp/analysis/index.php>

# 機関リポジトリの現状

---

---

- 紀要や学位論文などの灰色文献（グレイリテラチャー）の流通には貢献。
- グリーンOAの受け皿としては機能していない。

尾城孝一氏（東京大学, 2016）. 大学図書館とオープンアクセス：  
第18回図書館総合展フォーラム「10年後の大学図書館を考える～オープンアクセス時代の大学図書館の新たな役割」

【参考】一方、ゴールドOAは

- OA誌数もOA論文数も順調に増加
- 購読費 + APCによるOAビジネス
  - ▶ 国内研究者による論文公表実態調査（JUSTICE）

# 新たな課題への対応

---

---

## ■ オープンアクセス方針

### ▶ 学術情報のオープン化の推進について（審議まとめ）

…文科省学術情報委員会

…「【大学等に期待される取組】・機関リポジトリをグリーンOAの基盤として更に拡充する。 / ・オープンアクセスに係る方針を定め公表する。」

### ▶ 2016年中に採択した機関：

…徳島大学・九州大学・千葉大学・東京歯科大学・名古屋大学

## ■ オープンサイエンス

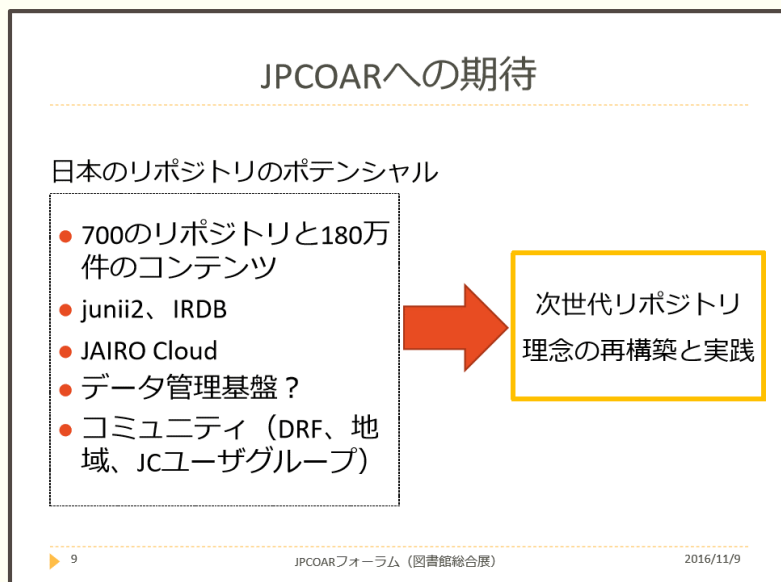
### ▶ 我が国におけるオープンサイエンス推進のあり方について～サイエンスの新たな飛躍の時代の幕開け～

…内閣府 国際的動向を踏まえたオープンサイエンスに関する検討会

### ▶ 第5期科学技術基本計画

## ■ 他にも……

# 改めて、機関リポジトリの現状



- これからの機関リポジトリの役割・基盤・運用・機能etc.について、改めて検討すべき時

尾城孝一氏（東京大学, 2016）. 機関リポジトリの今後とJPCOAR : 第18回図書館総合展フォーラム「リポジトリの未来を考える：オープンサイエンス時代の到来を迎えて」



# リポジットリコミュニティのこれまでと現状

# これまでのリポジトリコミュニティ

- デジタルリポジトリ連合 (DRF) / H18~
- JAIRO Cloud ユーザコミュニティ / H24~
- 機関リポジトリ推進委員会 / H25~
- ローカルコミュニティ



<http://drf.lib.hokudai.ac.jp/drf/index.php>



<https://community.repo.nii.ac.jp/>



<https://ir-suishin.repo.nii.ac.jp/>

# デジタルリポジトリ連合（DRF）

---

---

- 学術機関リポジトリ構築連携支援事業 委託事業によって活動開始
- 機関リポジトリ・オープンアクセスに係る様々な事業に取り組む
  - ▶ メーリングリスト、Webサイト（wiki）、情報誌『月刊DRF』での情報共有・意見交換
  - ▶ 各種研修：初任者・中堅者研修、ワークショップ等
  - ▶ プロジェクト、勉強会、オンライン勉強会の実施
  - ▶ 国際発信・国際連携（COAR等への参画）
- 参加機関と運営委員会と企画ワーキンググループ

# JAIRO Cloud ユーザコミュニティ

- JAIRO Cloud ユーザ機関（担当者）同士による情報交換のためのコミュニティ
- JAIRO Cloud（WEKO）利用にあたっての疑問・課題の解決が主

- ▶ フォーラム（掲示板）
- ▶ 「みんなで作るマニュアル」

フォーラム(参加機関用)

ユーザサポート(根記事一覧)

フラット表示へ 1 2 3 4 5 次 ▶ [20件] ▼

🔔 アイテムタイプが表示されない(1件) <span style="color: red;">new</span>	名古屋工業大学 波多江	2016/11/30 (0票)
🔔 著者IDについて(6件)	神戸女学院大学図書館 かがわ	2016/11/22 (0票)
🔔 学位論文のマッピング設定(4件) 📄	名古屋工業大学 波多江	2016/11/14 (1票)
🔔 WEKOの重複表示、削除について(7件) 📄 📄	Chihiro Nakama	2016/11/16 (0票)
🔔 出版社doiのメタデータ属性を「リンク」にした場合(3件) 📄	名古屋工業大学 波多江	2016/11/18 (0票)
🔔 CiNii IDについて(10件)	Risa Yoshino	2016/11/21 (0票)
🔔 著者名OR著者ID検索機能について(4件)	関西学院大学	2016/11/17 (0票)
🔔 CiNiiでの「機関リポジトリアイコン表示について(15件)	神戸女学院大学図書館 かがわ	2016/10/18 (0票)
🔔 重複して表示されるようになったWEKOの削除について(11件)	Fujiko Uehara	2016/07/15 (0票)
🔔 言語コードの変更方法について(4件)	Risa Yoshino	2016/02/12 (0票)
🔔 JAIROのアイテムタイプがリポジトリと異なる(4件) 📄	新潟県立看護大学	2015/12/14 (1票)
🔔 WEKO ver.2.1.7のリポジトリへの適用(2件)	筑波大学附属図書館	2015/01/08 (0票)
🔔 アイテムの「利用統計を見る」のリンクについて(5件)	Seijo University Library	2013/04/24 (0票)
🔔 複数の外部著者IDの内、1つを削除した著者名典拠の作成(2件)	名古屋工業大学 波多江	2016/10/31 (0票)
🔔 11/8 メタデータナイト(次期juni2の意見交換会...) (0件) 📄	国立極地研究所情報図書室	2016/11/04 (0票)
🔔 メタデータのみの登録について(6件)	Fujiko Uehara	2016/11/14 (1票)
🔔 パーシジョンアップ後、個別登録ができない(11件)	岡山県立大学	2015/08/05 (0票)
🔔 一括登録の際のアイテム登録先の指定方法(4件) 📄	波多江 貞子	2016/09/21 (0票)
🔔 登録処理(デポジット)時のエラーについて(1件) 📄	関西学院大学	2016/10/13 (0票)
🔔 利用統計:「2016年9月」の「ダウンロード回数」が表示さ... (1件)	名古屋学院大学 坂東慶太	2016/10/03 (0票)

フラット表示へ 1 2 3 4 5 次 ▶ [20件] ▼



# 機関リポジトリ推進委員会

---

---

- 大学図書館と国立情報学研究所との連携・協力推進会議の下部委員会として設置
- 「機関リポジトリを通じた大学の知の発信システムの構築\*」に関する事項を企画・立案し、学術情報の円滑な流通及び発信力の強化にかかる活動を推進することを目的
- H28年度は以下の作業部会・タスクフォースが活動
  - 作業部会
    - ▶ JAIRO Cloud運用作業部会
    - ▶ 研修作業部会
    - ▶ 広報作業部会
  - タスクフォース (TF)
    - ▶ 研究データTF
    - ▶ 論文OA TF
    - ▶ メタデータ検討TF
    - ▶ 指標・評価・メトリックスTF
    - ▶ COAR Asia TF

\*大学共同利用機関法人情報・システム研究機構国立情報学研究所と国公立大学図書館協力委員会との間における連携・協力の推進に関する協定書 第2条第1項(2)

# ローカルコミュニティ

---

---

## ■ 地域のコミュニティ

- ▶ ○○地区協議会 / □□委員会 / △△ワーキンググループ
- ▶ 勉強会・ワークショップ
- ▶ 共同リポジトリ

## ■ 担当者間の個人的な繋がり・人脈

## ■ より身近で相談・意見交換のしやすい場

- ▶ その他のコミュニティは？

# コミュニティとは言うけれど

---

---

## ■ Communicateしているのは誰か

### ▶ DRF

- …MLは一部の議論とイベント情報、更新されないままのwiki、参加者の少ないWS
- …参加機関は157機関、実働部隊である企画WGは公募で6名（4機関）

### ▶ JCコミュニティ

- …担当者間のやりとりとしては最も活発か  
→でも回答者はほとんど同じ

### ▶ IR推進委員会

- …そもそも全国的な課題に取り組む「委員会組織」
- …協力員間のコミュニケーションは多い

## ■ 特定一部への偏り、あるいはコミュニティとしては形骸化？



---

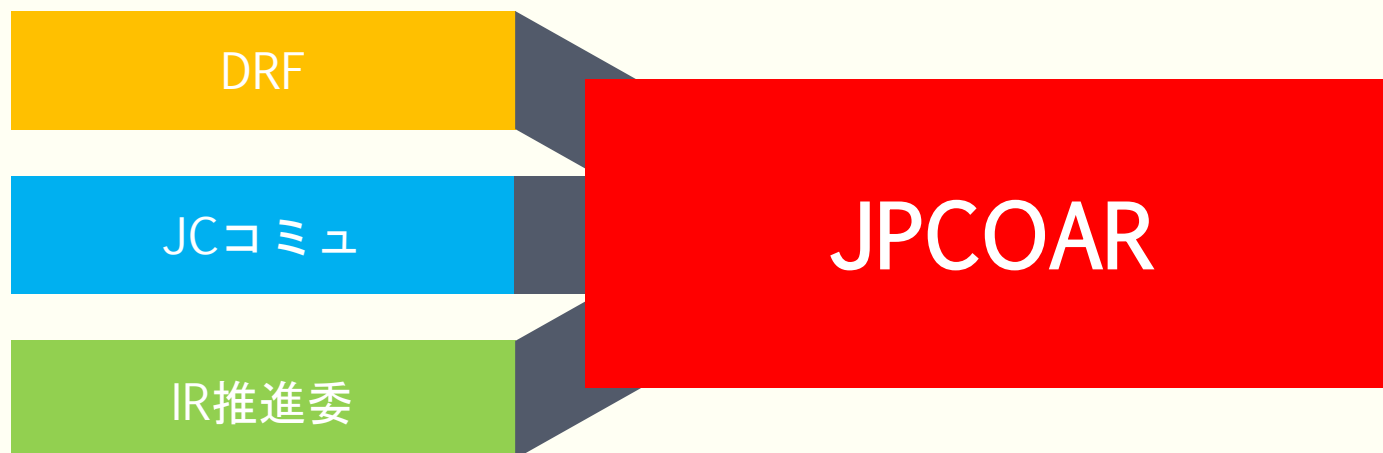
# これからのコミュニティとしてのJPCOAR

# オープンアクセス推進協会（JPCOAR）

---

## ■ オープンアクセスリポジトリ推進協会 設立趣意書：

- ▶ 「機関リポジトリを中心とするオープンアクセスに関する**既存の枠組み（コミュニティ）**を**再編・統合**し、これまでのコミュニティへの未参加機関も積極的に迎え入れることにより、**大学図書館界全体として活動する場となる機関リポジトリの新しいコミュニティ**である「オープンアクセスリポジトリ推進協会」を設立するものである。」



# オープンアクセス推進協会（JPCOAR）

---

## ■ 具体的な活動

### ▶ JAIRO Cloudの共同運営

…利用機関が運営経費を一部負担する形で共同運営

→持続的、安定的な運用を図る

→利用機関の要望をシステム改善に反映させることも可能に

…JC利用機関はJPCOARへの参加が必須

### ▶ 人材育成

…担当者の習熟段階や担当主題に応じた研修を実施

…オンライン環境で自己学習できる環境を整備

# オープンアクセス推進協会（JPCOAR）

---

## ■ 具体的な活動

### ▶ その他

- …機関リポジトリの機能開発
- …機関リポジトリ、オープンアクセスに関する情報交換の場を創設
- …機関リポジトリ、オープンアクセス普及のための広報・啓発活動を展開

## ■ 会費徴収による自律運営

- ▶ 構成員数により2～60,000円/機関
- ▶ JC利用料金とは別

## ■ 当面はIR推進委が運営委員として活動

# JPCOARへの疑問

---

---

- これまでのコミュニティの活動と何が違う？
  - ▶ DRF・JCコミュ・IR推進委それぞれを再編・統合  
…参加するいち機関・いち担当者から見て何が変わるのか
- これまでのコミュニティはどうなる？
  - ▶ JCコミュは（おそらく）JC利用機関が存在する限り存在
  - ▶ IR推進委は運営委員として定着？
  - ▶ DRFは？
- 参加するメリットは？



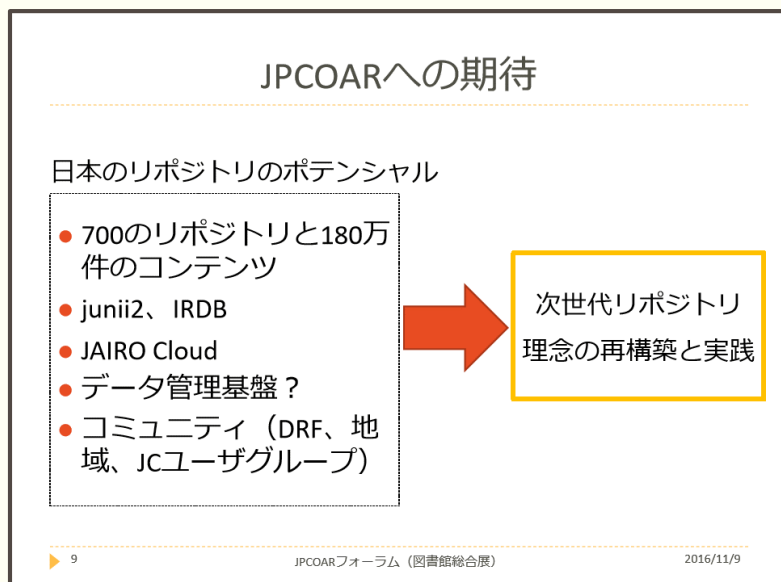


---

# JPCOARに期待すること

---

# 【再掲】改めて、機関リポジトリの現状



■ これからの機関リポジトリの役割・基盤・運用・機能etc.について、改めて検討すべき時

■ 誰が検討するか

- ▶ 国全体であり
- ▶ それぞれの機関であり
- ▶ 一人ひとりの担当者  
…独りで悩む？

尾城孝一氏（東京大学, 2016）. 機関リポジトリの今後とJPCOAR :  
第18回図書館総合展フォーラム「リポジトリの未来を考える：  
オープンサイエンス時代の到来を迎えて」

# 先ほどの疑問

---

---

## ■ この後のパネルへ……

- ▶ これまでのコミュニティの活動と何が違う？
- ▶ これまでのコミュニティはどうなる？

## ■ 参加するメリットは？

- ▶ 第17回図書館総合展フォーラム「機関リポジトリの近未来：オープンアクセスからオープンサイエンスへ」（H27）における新協会（JPCOAR）設立準備会の方々のコメント（要約）

- …「加盟することでどのようなメリットがあるかは、明言できないことと思われる。しかし、それを考えるのがコミュニティをつくり、参加することの意味であり、他者に期待することではない」
- …「DRFにて会費徴収の議論があった際、『コミュニティは何をしてもらうかではなく、そこで何をしたいか、の場であるべき』という意見があった。（中略）新協議会というコミュニティで何をしたいか、ということを考えて参加すべき」
- …「新協議会については、セッションの中でも言及されたが、人任せでなく自分が何かするという姿勢、自分がやりたいことをやる場として参加してほしい」

# ならば、JPCOARに期待することは

---

---

# 形骸化したコミュニティからの脱却

---

---

- 担当者一人ひとりが参加しやすいコミュニティを
  - ▶ 情報共有・意見交換のためのフォーラムにしても……
    - …練度・年数別、システム別、地域別、匿名、オープン or クローズなどなど
    - …課題の切り分け：実務レベル・戦術レベル・戦略レベル
- 誰もが企画・立案・意見できる場に
  - ▶ 各種活動に対するコメント・問い合わせ
  - ▶ 参加機関（同士）による新企画・事業
- 「積極的に参加して」だけでは難しい
  - ▶ 研究者はセルフアーカイブに尽力したか

# ひとつだけ確かなこと、 これまでのコミュニティとの決定的な違い

---

- 会費徴収というネック：2～60,000円/年
  - ▶ リソース不足はどこも同じ・無料だったことが奇跡
- 予算利用というチャンス
  - ▶ 例えば地域ワークショップなら：十数万円～/回
  - ▶ 決められたプログラムでなく、自分たちの課題解決のために
- 黙っているだけ損
  - ▶ ひとりで無理ならみんなで、そのためのコミュニティ

# 誰もが参加できるコミュニティへ

---

- 差し伸べる手と踏み出す一歩
- ご清聴ありがとうございました

